

～ 益田駅前お元気マルシェ・秋のフェスティバル ～

「益田産の”美味しいもの・楽しいこと”を一堂に集めて心躍る秋の一日を過ごそう！」をテーマに、商店街の空き地を活用して、軽トラ市やワンコイン100円商店街等を実施。地元の農産品をはじめ雑貨、衣料品の販売、玉子のつかみ取り等を行い、商店街・個店の認知向上と新規出店の実現を目指した。

所在地：島根県益田市駅前町25-10
TEL：0856-22-1245 FAX：0856-23-5761
URL：—
組合員数：19名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

J R山陰本線益田駅前の西側に広がる設立60周年を迎えた近隣型商店街。平成18年からの駅前道路の拡幅工事に伴い、多くの個店が移転や廃業を余儀なくされ現在は半分以下の19店舗となった。そこで、賑わいの創出や新規出店につなげようと、店舗が抜けた跡の空き地を利用した軽トラ市を企画、今回で10回目の開催となった。美味しい秋の味覚や手作りの品を集めた軽トラ市と、益田市初のワンコイン100円商店街等を併催し、商店街・個店の認知度の向上を図った。

実施した事業の概要

商店会設立60周年を記念して、軽トラ市にワンコイン商店街を組み合わせた秋のフェスティバルを開催。過去最大の2,000名を超える来街者で賑わい、商店街の活力をアピールした。

①益田駅前お元気マルシェ・軽トラ市

駅前の空き地をメイン会場として軽トラ18台を並べ物産市を開催した。今回初参加の地元高校による地産の野菜をはじめ、鮎の塩焼き、ゆず加工品、まな板、手作りの雑貨などを販売した。地元高校の軽トラは特に好評で品切れ品が続出した。

②ワンコイン商店街とスタンプラリー

個店13店が参加し、100円で色々なサービスを提供。全員がスタッフベストを着用し統一感を出した。玉子や球根の掴み取り、乾電池作成教室、Yシャツクリーニングなど、工夫を凝らした企画で賑やかな開催となった。

また、ワンコイン商店街参加店を5つ回ると、地域の特産品が当たるスタンプラリーを実施。スタートとゴールを軽トラ市に設置したことで、個店への誘導と回遊性が高まり新規客の来店等による売り上げ増加につながった。

③なつかしの昭和レトロ商店街写真展

設立初期だった昭和30年代の商店街や益田駅前の写真を展示した。今昔の比較ができるように工夫したことで、昔を懐かしんでもらうとともに広い歩道、電線の地中化など道路の拡幅工事によりすっきりした街並みとなった現在の商店街をアピールした。

イベントの周知には市全域に新聞折込を行うとともに、近隣商店街の協力を得て広域にポスターの掲示を行った。



成果と成功の要因

スタンプラリーのスタートとゴールを軽トラ市の会場に設置したことにより、いままでは軽トラ市のみに参加していた来街者が個店に足を運ぶきっかけとなり、新規顧客の獲得に貢献した。また、オリジナルスタッフジャンパー、ベストの着用は商店街の活気と団結力の発信となった。各種のイベントを併催したことが功を奏し、過去最大の2,000名を超える来街者で賑わい、事業終了後には想定を超える歩行者通行量の増加や商店街への新規出店につながった。

商店街の個々の店の多くには若手後継者がおり、本事業の実施に当たっては若手に役員となってもらい、彼らの目線で企画・運営を行ったことが成功の鍵となった。これにより若手、女性を含めた商店街全体の組織力が高まり、成功への大きな原動力となった。

今後の取り組み

今後も空き地を利用した軽トラ市やワンコイン商店街などのイベントを継続する予定。個店の魅力を伝えることで益田駅東側からの来街者の増加を見込んでいる。また、近隣の商店街、産業支援センターや商工会議所と連携し、エリア全体の集客向上につながるようなイベントを企画していくことを考えている。費用については、会費の一部を充当する他、各種補助金を活用していく予定である。